夕刊 東北日日新聞
年中無休刊
本紙一ヶ月三十錢 郵税三錢一部三錢
廣告料一行五十錢 場所指定三十錢増
發行兼編輯印刷人 石井孝
發行所 石城郡平町白銀町十番地 東北日日新聞社 電七七

社説

平信用組合が十五年といふ永い歷史を有し七百名に近い組合員と在庫金三萬餘圓を有する點に於て石城郡中の雄であらう。大谷組合長が創立當時からコツ／＼と努力して來たことも勿論その間に多少の批難すべき點があつたとしてもが永い忍從の建設的な功績を無視することができないのである改造派は大谷氏の一理事にすることすらも反對であつて左樣にこと毎に大きい反感と憎しみとを抱いて居る深さも量も知ることができる然し來昭和五年度は創立より十五週年に相當すると聞く大谷氏は努力の結果をみるに誰人でも同氏の業績を顧みない譯には行くまい若し同氏の一片に報ずることが平信用組合の當然なすべきことであるならば大谷氏に一ヶ年の猶豫を與へ氏の育てた創立十五週年を期して同氏を退かしめることが同氏への禮讓ばかりでなく組合の執るべき常識的な行爲ではなからうか陰謀的な手段で大谷氏を毒殺することは斷じて默過し難い事實である。

四月から實施される 改正民事訴訟法
新法によれば解決は 非常に早くなる

現行民事訴訟法は實に明治二十四年に實施され爾來四十年に近い歳月を經たがその間不備の點を發見したので去る大正十五年改正されいよ／＼來る四月一日から實施されてゐるがその改正された重要な點は從來訴訟の進行が頗る緩漫でその完結までに多大の日子を要したが改正の結果は從來の四分の一乃至は五分の一位の日數で解決される事になつたので右に就き裁判所當局では語る

辯論の開始に當り一人の係り判事が事件の下調べをして當事者の主張を要約し爭點を明かにしそれに關する證人證書その他の證據方法は豫め申出でしめる等一切の準備を整頓した上辯論を開始するのであつて一度辯論を開始すれば新事實の主張や新證據の提出は已むを得ざるもの丶外許さず準備手續において主張又は申出でた證據の範圍内で着々審理を進め證人の如きも辯論期日に豫め呼出して大抵の事件は一回の辯論で審理を終り大事件と雖も二三回を以て終結する事となるわけで從來のやうに審理中屢々判事の更てつを見ることもなく同一の判事が極めて短時日の間に判斷を下すことが出來るわけである其處で今まで貸金の請求等の如き簡單な事件が一年位か丶ることが少くなかつたのが一掃されるわけで當事者にとつては非常に便利である又期日についても原告被告の間に合意して自由に延期することが出來たがこれは訴訟の遲滯を來す原因となつたもので訴訟の眼目たる利權保護の目的を達する上から見て大切なことではあるが訴セウ促進の一方法として裁判所において事情を考慮し適當に裁量してこれを決し當事者の所謂合意延期を認めざることになつた

交換するなら 應じませう……で
第三小學校敷地問題 愈々紛糾を重ねる

平町第三小學校新築は既に基礎工事に着手したが四千餘坪の敷地の中九百坪を所有してゐる地主齋藤某が買收に應じないので委員會でも手を燒き再參交涉を重ねた結果所有者は他の價格と同樣に賣却するが替りの土地を濟して貰ひたいと申し出たので委員會を開き協議したが豫算關係其の他でそれは出來す工事の都合もある爲め結局最後の交涉をなしてそれでも應じない場合は土地收容法を適要する事になるらしく見られてゐるが着工後尚敷地の買收が終らないので町當局も氣をもんでゐる

精神病者の 投身自殺

◇…江名町の騷ぎ 江名町字南中町居住荒木松吉(五六)は二十四日午後二時頃自宅裏井戸に投身して自殺を遂げたが原因は精神に異狀を來した結果

内鄕村で 老人縊死
老い先をはかなみ

東京市京橋區月島五丁目生れ當時石城郡内鄕村宮反保方居住反保定二(七七)は二十六日午前四時頃反保所有の長屋に於て縊死してゐるのを家人が發見平署に届出たが原因は中風症にか丶り半身不隨となつため

小名濱商港實現で 淺野翁の寄附は こんな關係から
百萬圓を中心の經濟問題

小名濱商港の實現に就き大きな力となつたものはなんと云つても巨頭淺野總一郞翁であつたことは云ふまでもないがそれだけ其の裏面即ち淺野翁の百萬圓寄附に就き種々の噂が立つてゐる即ち從來磐城炭礦から出炭される數量の大部分は多く東京方面に送られて居た結果同港完成後は磐炭に取つて非常な利益となる殊に淺野翁は電力事業に着目し將來の東京市の工場工業の電力化を見越し電力の需用益々增加すると同時に現在の水力電氣に依つて東京市内に供給されてゐる電力では不足を生じ火力發電にて電力供給の餘地充分なるを明確に摑みこれがため目下東京市外鶴見海岸の埋立地へ大火力發電所を建設する計劃を立ててゐる同發電所が運轉する事になれば年に莫大の石炭を要し然も從來鐵道輸送をして一トン四圓餘の運賃を支拂つてゐたのを海運によれば僅に一圓六十五錢となりトン當りの差二圓三十五錢の大減少となり莫大な運賃が浮かび上ることになるから百萬圓寄附に就てはうなづかれる節があるといふのである

民政主催の 政談演説會
議會報告を兼ね

來月中旬頃民政黨石城郡部主催の議會報告を兼ねた政談演説會は四月四五日の頃本部から松田源治、齋藤隆雄氏外十數名を迎へ平、植田の兩町に於て開催する事に決定したが一方政友派でも之れに對抗して演説會を開くべく町村會議員改選を目前に控えた石城地方の政戰は漸くたけなはとなつて來た

米屋へ泥棒

岩手縣生れ當時住所不定石川政之助(二八)は先に窃盜被疑者として平署に檢擧された事あるがその後同人は石城郡地内を徘徊中去る二十五日湯本町字三函比佐米店に忍び込み白米一俵を擔ぎ出した事發覺し二十七日平署に檢擧された

四倉鄕軍問題は 全くの宣傳に過ぎぬ
二十六日の總會で漸く判明

石城郡四ツ倉町在鄕軍人分會は基本金の使途問題に就いて種々紛爭を續けてゐるので同會では二十六日午後六時から同町小學校に於て總會を開催しヘキ頭會員は福島毎日新聞に報導された疑獄事件の實査について會長並に會計に質問を爲し險惡な空氣となつたが事實が全くなかつた事が判明した而し同分會大正八年以降の基本金約二千圓の使途については會計主任を中心にして一問題起きるものと觀測されてゐる

西洋料理 丸昇軒 電話四三九番

ポスト 投書歡迎

▲既成品のやうなツルシン棒連中が集つて相談したつて碌が出來るものか藝妓をからかふ事とロハ酒をどうしたら飮めるか位の腦味噌しか持ち合せがないんだらうよ（ダラリ生）▲鰻を喰つた元氣を見せて貰いテイねーヌラリクラリの鰻戰術はデイきらいだー、春先だ、頭が狂はない樣に御要心／＼（バン公）▲へ臭虫には自分の臭さが解らないんだそうた、人のセンキを氣にやむよりか、料理屋の勘定でもキレイに拂ひやがれ（高等タイコ持）▲カヽアの氣嫌を損じなさんな下手にマゴツクと山の神樣がおこりになるからね、セイゼイ罰金の用意でもして置くさ（カヽ天下生）▲漸く平の財界も平靜に向はんとして居るのに石を投げて波を立てんとする物ずきが商校敎員中にあるとは考へさせられるョ…（信用組合員）

住宅向の 貸家あり 平白銀町 石島

筆洗ふ前に

小犬が苗床をほりかへすので針金を張り廻はした。
その翌日も、他の場所から入りこんで荒し廻つた。
また嚴重に針金を張つた。
それでも小犬はもぐり込み苗床は散々の體たらくだ。
細心の注意をして一層さいかめしくした。
小犬は針金のあたりをウロ／＼して鼻を鳴らしてゐた。
人生もさうだ。
人間もいくたの異つた試練と體驗とをつみ重ねてから始めて人間としての完成をみるのである
たゞきあげることだ
悲あいの海を渡ることだ
試れんと戰ふことだ
そして始めて人生を知ることができやうと

山野邊君に答ふ

高月臺生

×

一つの新聞經營をしてゐる山野邊君がそれを知らない筈でもあるまい、旬刊に旬刊の使命があると君が言明してゐる如く、日刊に日刊としての使命があり、全部の日刊新聞が其の使命の爲めに活動してゐる事は事實で、若し其の活動を休止したら新聞の存立が危くなるからである。

「活耳目」の一文は山田民報子の辯護と横山氏との惡口で、之れに對して批判をする事は避ける。此の間にはデリケートの問題が伏在してゐる事であらうし、同業者―日刊新聞記者―の反目の溝を深くする事であると考へたからである。

所謂磐城セメントとかの問題についての惡辣極まる策動について被害者である人々が事件を司直の手に委ねると聞えてゐる、近く其の黑白が判明する事と思ふ、新聞に對するの希望から生れ出た當ての外れた個人攻擊には山野邊君果して健在なりやと言ひたくもなる。

一部の者が特に他を陷れ樣と企てた事實無根の事件、第一に文章の上に現した君自身が被害者である人々の責任を一人で背負はさせる事になつた事を知つてゐるのかね、若し知つてゐるものとすれば君は勇敢な○○○と言はねばならなくなる君と縣立磐城中學校との誓約がどんなものか、磐中出身者でない筆者には解らない、君が毎夜の如く新田町に出張して集めた紅筆には其の努力を賞讃する。

君が磐中出身なるが故に献身的に磐中の爲めに盡力する事は見あげたものだ、唯其の間に新聞紙經營の上に利用する意志かなければである、又紅筆も個人の趣味からでなく、獨身者の慰めからでなく、一部の遊とう兒を喜ばす爲めに歡樂境起きた秘密を素つ破ヌキ、御丁寧に新妓の紹介をするのでなく、社會をけふ正する爲めに筆をとるとすれば之れも亦筆者は双手をあげて讃成する。

君の新聞に對して寸毫も敵意はないが、新聞に幾分の關係を持つ筆者が、どうせ書くなら正々堂々とハツキリとして貰いたいと希望を述べたので、君があれはあ、であつた、これはこうあつたと個人の攻擊や八ツ當りをせずに敎示するなら筆者は直ちに氷解した旨を此の東日紙上を借りて謝禮を述べる度量もある。

×

最後の問題は別だが、山崎清三氏が語つたと君の新聞に出てゐた「平の新聞」云々の記事だか、若し山崎氏自身が眞實に言つたとすれば在平新聞記者を全部侮辱したものだと思ふ、新聞記者も人間的良心がある、正義心も持つてゐる、凡ての記者が何れも金錢の爲めに節を賣つてゐるとは思はない此の問題はキツと何等かの形で山崎氏が言つたか言はないかを確める樣な事になると思ふ。

×

隨分長たらしく書いたが要するに君の解釋の間違つていた事を書いたつもりだ、更らに君が君の新聞の全紙を埋めて抗議反バク文を書こうと勝手である、横山氏の迷惑を思つて心ならずも採つたフデであるから君が何度何の樣な事を書いても相手になつて論爭を重ねる意思がない事を最後にお斷りしてフデを置く。

附記

再び此の問題についてフデをとる意思がない事を憶病だから……と云ふ樣にとられるとも考へたので、一應論爭の意思を捨てる理由を説明する。

常人の間に於ける論爭は結局の處惡宣傳を生み自己の立場をより强固にする爲めに相手方の個人の行爲についての攻擊に陷り安いものである、で個人の人身攻擊になる結果を憂慮して論爭を避ける氣持ちになつたのであるが、君の方で文法の問題、新聞の價値とかについて論爭を仕樣と云ふなら同時でもお相手申しあげる筆者自身にした處で名譽心にかられ過ぎて風車を敵と思ひ違ひたドンキホーテにはなりたくないし、同時に其の信者である處のサンチョパンザには尙更以つて御面を蒙りたい。之れだつて君自身が、此の代表的道化役者になりたいのであれば別である。

流下藥

秘密に讓ります　金四圓頑用金七圓　無効返金

月やく止まり心配の人は安心確實!!!
無害に流下し目的を達する當局發賣
の强烈特殊藥をお用ひなさい
◎某店の如く無責任藥は賣らぬ！
高き醫療より安い藥劑師へ

特に平町田町　宇佐美藥局に

◎醫藥分業の標語募集
一等五圓蓄貯債券　以下略　四月卅日迄用紙葉書

▽塗料大廉賣△
クレオソート油　一圓二十錢
コールタール　一圓廿五錢

□開館十五週年記念謝恩特別大興行
◆廿八日替四大名篇
◎日活作品　葛木香一　澤村春子
首賭商賣
武士は喰はねど高楊子……と天下を濶歩する西國浪人源之丞も生きんが爲め首賭商賣
◇日活作品　鳥羽陽之助　川上彌生
劍亂の森
千代田城築城繪圖を中心として奇怪な事件
◇日活名作　竹久新　德川良子　澤蘭子
波浮の港
日活專屬リブラノ敎頭中屋幸子女史特演
◇松竹作品　市川右太衛門と一黨
かげろふ
頽廢し行く大江戸の末期權門富貴のみを襲い暴威を振い乍而も物欲に拘泥する事なき一代の快傑兒
謝恩爲晋通席　金十錢　日活　松竹　平館

日本最高の利益配當ある
仁壽生命
昭和三年度　最高四割五分
配當率　最低四分五厘
◎外務社員數名招聘
仁壽生命保險株式會社
平監督所
平町大字六番地

内外果實問屋
引藤居商店
平驛前通り
電五四三番

外科一般（入院隨意）
内臟外科專門
花柳病科
平町六丁目（橋際）
木村外科醫院
電話三〇カ

どんな重症でものめば直ぐキク
◎慢性淋病藥
特製リベール
一圓　二圓　三圓　五圓
四丁目　小野藥店
電話一四四番

□健康と經濟は!!
最も御手近な御召服の清潔から……
◆洋服毛織物染色！
◆和服絹綿布染色！
◆洋傘洗滌染色！
クリーニング乾燥所
永山高等洗濯所
平町四丁目南川岸通り

俺が服見よ、自慢ぢやないが買はぬ者ない、正札堂
アラ正札堂
物は試しよ、正札堂へ來てよ見さんせ、服買ひに
アラ服買ひに
薄利多賣は此の店の主義不景氣泣かせの、福の神
アラ福の神
正札堂
平・四丁目停車場通り